

- 1 単元名 わたしたちの生活と政治  
小単元名 わたしたちの願いを実現する政治
- 2 小単元の目標
  - ・法律や条例が制定されたり公共施設が建設されたりするまでの経過を進んで調べるとともに、選挙や政治に関心を持つことができる。(関心・意欲・態度)
  - ・法律や条例の制定は私たちの生活の安定と向上を図ろうとする地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを考えることができる。(思考・判断)
  - ・政治の働きと国民生活の関係を教科書や資料集などを適切に活用して調べ、文章や図を効果的に用いてまとめることができる。(技能・表現)
  - ・条例の制定や公共施設の建設には、地方公共団体が、それぞれの地域の実態に応じた住民の願いを取り入れながら、国と協力して望ましい施策を実施していることを理解することができる。(知識・理解)
- 3 小単元について  
本単元は、学習指導要領の内容(2)を扱う。この単元は、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを捉えさせるものである。  
しかし、地方公共団体や国の政治の働きは児童には身近に感じられにくいものである。そこで、国の政治と児童の生活との関連を考えながら、身近な題材を選ぶ必要がある。その題材について調査したり資料を活用したりしながら、我が国の政治の働きを具体的に考えられようにしていきたい。
- 4 児童について  
歴史の学習に関心を持ち、意欲的に学習する児童が多かった。その意欲を公民分野の学習においても持続させていきたい。ただ、現代の政治に対しては、用語の難しさなどから関心も低く、毎日新聞に目を通す児童も少ない。  
ただ、歴史の学習の時から、社会的事象の意味を話し合いの中で理解していく活動は数多く行ってきた。そのため社会的事象同士の関連性を踏まえてその意味を考えることができる児童が増えてきている。
- 5 指導について  
政治の土台にあるのは法律であり、法治国家にある我々の生活も法律によって支えられている。学校の活動も法律に基づいたものも多く、例えば、教科、給食、授業料などが挙げられる。そこで、具体的な法律を手がかりに、政治にアプローチしていきたい。  
また、公民分野への導入単元なので、適所にクイズを取り入れ、興味を持続させながら学習を進めたい。  
さらに、児童が自分たちで条例を制定しようとする追求活動を取り入れることで、具体的に政治と自分たちの生活との関連を捉えていけるようにしたい。  
本年度「中学校への基礎を育てる社会科授業づくり」というテーマで研究主題に迫る取り組みを進めている。小中連携の取り組みの上でも、中学校の学習でも生きるコミュニケーション力を育てたい。そこで、本単元では話し合い活動を多く取り入れていきたい。
- 6 指導計画(8時間配当)

時	学習内容	ねらい	関	考	表	知	評価規準
1 本 時	法律クイズの正誤を考え、話し合う。	法律クイズから法律を作る国会の働きに関心を持つことができる	◎	○			(関心・意欲・態度) クイズにある法律の正誤を意欲的に考えようとしている。 (思考・判断) クイズにある法律の正誤を生活経験などと結びつけながら考えることができる。
2	国会の働きを調べてまとめる。	国会の働きについて調べ政治の働きを捉えることができる。			◎		(技能・表現) 国会の働きについて教科書や資料集を適切に活用して調べることができる。
3	未来の選挙投票率を予想する	選挙投票率の変化について話し合い選挙の大切さを理解する。	○		◎		(技能・表現) 選挙投票率のグラフを見て気づいたことや思ったことを発表できる。 (関心・意欲・態度) 選挙について自分の考えを持ち、意欲的に発言できる。
4	条例クイズの正誤を考え話し合い、条例を自分流で考える。	条例についてのクイズから国会や市議会の働きに関心を持つことができる。	◎	○			(思考・判断) 条例についてのクイズの正誤を生活経験などと結びつけながら考えることができる。 (関心・意欲・態度) 条例にあるクイズの正誤を意欲的に考えようとしている。
5	自分が考えた	条例の制定に関わる			◎		(技能・表現)

	条例に必要となる実施の手続きをまとめる。	行政の働きや関係がわかる。				行政の働きや立法と行政の関わりについて教科書や資料集を適切に活用して調べることができる。
6	税金の集め方を自分で考えた。税金の集め方を考える。	税金の使われ方について調べることができる。			◎	(知識・理解) 条例を制定するなどの政治の働きと税金の関係について理解することができる。
7	みんなの考えを比べてみる。みんなの考えを比べてみる。	みんなの考えを比べてみる。			◎	○ (思考・判断) みんなの考えた条例制定プランについてこれまでの学習や生活経験を結びつけながら比べることができる。 (知識・理解) 公共の意味について理解し、自分の考えをノートにまとめることができる。
8	生涯学習センターで学ぶ。生涯学習センターで学ぶ。	条例の制定と習得の過程を学ぶ。			◎	○ (技能・表現) 生涯学習センターができるまでの流れを教科書や資料集を適切に活用して調べ、図や文章でまとめることができる。 (知識・理解) 市議会や市の行政の働き、税金や選挙の仕組みをそれぞれ理解するとともにそれらの関連性を理解することができる。

7 本時の目標

法律クイズの正誤について生活経験を基に考え、話し合いの中で法律を作る国会の働きに関心を持つことができる。

8 準備物

法律クイズ（掲示用）

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支援（・）と評価（☆）
<p>○法律クイズを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①給食はやめて毎日弁当にする。 ②算数は無くしてゲーム科を作る。 ③教科書代を集金する。 ④4月の健康診断を7月にする。 ⑤通知表をやめる。 和田小の先生達みんなで①～⑤を決めました。 できると思うものに○、できないと思うものに×をつけましょう。</p> </div> <p>先生達が変わえられる法律を考えよう。</p> <p>○考えを発表し合い、賛成反対の意見について話し合う。</p>	<p>・ノートに番号を書かせ、その横に○×とその理由を書かせる。</p> <p>・○×の理由も考えて書かせる。</p> <p>・迷っている児童には、実施すると困ることや困る人を考えさせる。</p> <hr/> <p>・①～⑤の○×の数を確認する。 ・①から順に理由を確認する。 ・理解しにくい発言は補足説明する。 ・話し合いが煮詰まったら、切り口を整理する。 ☆クイズにある法律の正誤を意欲的に考えようとしていたか。 （関意態 ノート・発表・つぶやき） ☆クイズにある法律の正誤を生活経験などと結びつけながら考えることができたか。（思判 ノート・発表・つぶやき）</p> <hr/> <p>・「市長」や「内閣総理大臣」などを提示する。 ・次時に向けて家庭で新聞記事などの資料を探してくるよう伝える。 ☆国会について関心を持つことができたか。（関意態 つぶやき・表情）</p>
<p>○正解を知り、誰なら変えられるかを考える。</p> <p>○法律を変えられるところは国会だけであることを知り、次時に国会について調べることができる。</p>	

10 授業の観点

・法律クイズは、政治の学習に関心を持たせたり自分の考えを作りやすくしたりする内容であり、今後の活動への導入として適切であったか。